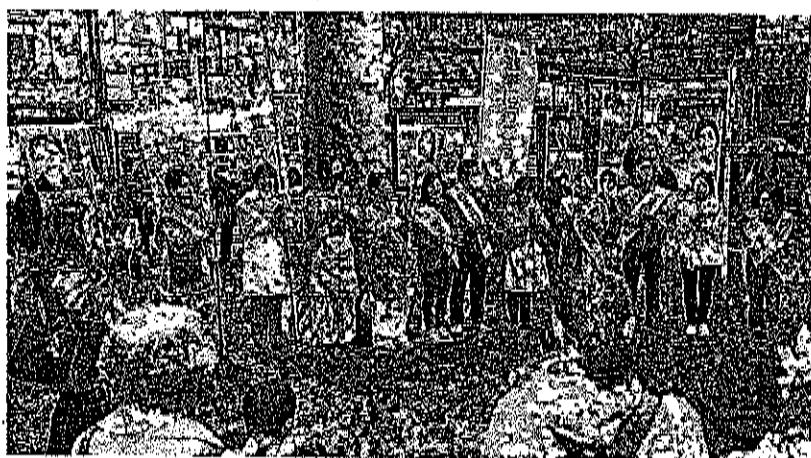


杉並区議選 投票率アップへ市民動く

低い投票率が課題の地方選挙。4月の東京都杉並区議選では、投票率を上げるために市民が奔走。投票率は4%上昇しました。女性議員が男性を上回り、新人15人が当選。自民党は幹事長含め7人が落選。住民はなぜ動いたのでしょうか。



共同街宣する杉並区議選の候補者=4月15日、東京都杉並区（田中はじめ撮影）

東京

ちよつとの力で変わるかも

低い投票率が課題の地方選挙。4月の東京都杉並区議選では、投票率を上げるために市民が奔走。投票率は4%上昇しました。女性議員が男性を上回り、新人15人が当選。自民党は幹事長含め7人が落選。住民はなぜ動いたのでしょうか。

(林画)

投票率は前回から4.19%増え43.63%、約2万人が新たに投票しました。定員48の半数にあたる24人の女性が当選。分裂していた国民党は16から議席、公明党が7からの議席に減らす中、立憲民主党は2議席の議席に増え、日本共産党は現有の議席を維持しました。

「ひとり街宣」
投票率で行われたのは、特定候補の応援だけではありません。投票率アップのため、市民が手始めました。

「ひとり街宣」一。個人がアラカルトなどを持ち駆けたり「ひとり街宣」など、市本勝子区議会議員が今最も実施。区長と協力する候補が会派を超えて対話する「共同街宣」も注目を集めました。

「誰が何をしたか誰も知らない」といわれるほど、個人がそれぞれ行動し、街宣やSNSで交流しました。熱意はいつもうまれたのか。

初めてひとり街宣をし

た、「ひとりさんは「2020年は市本さんが新しい街宣」など、市本勝子区議会議員が今最も実施。区長と協力する候補が会派を超えて対話する「共同街宣」も注目を集めました。

「私はできないことを

しただけ。みんなの

「ひとりさんは「2020年は市本さんが新しい街宣」など、市本勝子区議会議員が今最も実施。区長と協力する候補が会派を超えて対話する「共同街宣」も注目を集めました。

「私はできないことを

しただけ。でも選舉応援のハ

ドリは高かった」。ひとり街宣は、いつでもみんなでも誰でもできる応援として、急速に広がりました。「自分たちができる形で、市民が選舉をぐぐり出す」と聞き寄せた。自分とは代)は初めて、友人に投票に行ってみた。投票率は「2020年は市本さんが新しい街宣」など、市本勝子区議会議員が今最も実施。区長と協力する候補が会派を超えて対話する「共同街宣」も注目を集めました。

「私はできないことを

しただけ。でも選舉応援のハ

ドリは高かった」と話します。 「普通の人があついている。自分も何かしたい」とい。区内の会社員(40代)は初めて、友人に投票に行ってみた。投票率は「2020年は市本さんが新しい街宣」など、市本勝子区議会議員が今最も実施。区長と協力する候補が会派を超えて対話する「共同街宣」も注目を集めました。

「私はできないことを

しただけ。でも選舉応援のハ

女性議員半数 自民多数落選



ひとり街宣を報告する、りこひんさんのツイート

「私の選舉」として多くの人が加わるきっかけになった区議選。会員の吉田勝子さん(44)は「おさんゴルフ政

策を組んだのが大きかった。政治活動が今、当選。政治活動が今、区議会も變りました。

自分には力がある

お店で投票率を見せて貰ったが受けられる「選舉権」をもたらす。この「選舉権」をもたらす。金候補69

人間の半分以上が投票を行っていません。本当の無関心といつていいながらが課題」と語ります。

「区議選では一定、エンパワーできました。しかしそう多く人が現状を

自己責任と思われ、行政を変える発想から通されていている。選舉結果にかかわらず、住民の運動は止まっている

が強かった」と話します。